

地域 足利市  
地域パートナー 小林 孝之助 (足利市役所)

9班 コミュニティデザイン学科 菊地亜実 茨木咲穂  
建築都市デザイン学科 平井晃輔 佐藤龍汰  
社会基盤デザイン学科 赤荻亮真 加藤舜

## 背景

足利市の総人口は144,796人であり、平成2年をピークに減少傾向が続いている。年少人口と生産年齢人口が減少する中、高齢者人口は増加しており、少子高齢化が進行している。また、足利市では20歳代を中心とした市外転出が目立っている。地域の活力を維持するためには、若い世代の活躍が必要である。こうした若い世代の定住や、地方志向における移住の促進に向けて、高校生などの若者が足利で様々なことに挑戦し、活躍できるようあらゆる分野で支援を行う必要がある。

令和3年にあしもり隊が結成され、足利市の高校生たちが足利市にゆかりのある多様な人材と連携を図りながら地域の魅力を学び、自らその魅力を発信し、地域活性化に向けて活動している。

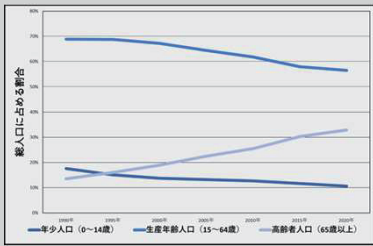


表1 足利市の人口割合の推移 写真1 あしもり隊の高校生

## 目的

地域活性化を目的としたあしもり隊の今期の活動を通して、高校生への地域への思いの変化を調査するとともに、あしもり隊の活動をより良くするための提案を行う。

## 方法

### 1stサイクル

足利市について調査し、課題発見と目的設定を行った。現地訪問を行い高校生と顔合わせし、あしもり隊のMTGに参加した。

### 2ndサイクル

8月にえんまルシェ、10月にキッチンカーフェスティバルに参加して、それぞれのイベントでイベント来場者を対象にアンケート調査を行った。

### 3rdサイクル

あしもり隊の高校生を対象にアンケート調査を行った。今回のアンケート結果やこれまでに自分たちがあしもり隊とともに活動して感じてこと、調査結果などをもとに提案作成を行った。



写真2 えんまルシェの活動の様子

## あしもり隊へのアンケート結果

### 活動で良かった点

- ・やりたいことを実現できた。
- ・さまざまな人との関わりが生まれた。
- ・視野を広げられた。
- ・自由度が高く、面白いことができた。
- ・話し合いの効率が良かった。
- ・充実していた。
- ・足利を盛り上げられた。

### あしもり隊の強み

- ・アイデアの豊富さ
- ・活動の自由度の高さ
- ・コミュニケーションの幅が広がる
- ・足利の魅力を知ることができた
- ・社会貢献ができる
- ・仲の良さ
- ・高校生目線でアイデアを出せる

### 改善点

- ・大人の手助けが多く、自主性に欠ける部分があった。
- ・作業の効率をもっとよくできると感じた。
- ・あしもり隊に入っていない人も活動に参加できるとよいと思った。
- ・発信源をもっと増やした方がよい。
- ・規模を大きくしたい。

## 提案

現在は、キッチンカーフェスティバルなどあしもり隊の高校生たちがやりたいことを主体的に行っており、「高校生が活躍できる地域づくり」という本来の目標とのあいだに差がある。

そのため、今後はさらに足利市の地域課題解決に直接つながるプロジェクトにも取り組むことで、あしもり隊と高校生・足利をつなげ、地域と高校生双方にとって良い活動ができ、「あしもり隊が活躍できる環境」から「高校生が活躍できる地域」につなげることができると考える。その為に私達は以下の4つの提案をする。

### 地域交流



自治会活動の参加など地域の人との交流の機会を増加させ、若者がまちで活躍する機会を増やす。あしもり隊の認知度向上も期待できる。

### 足利市の魅力の発信



観光地を訪れたり、飲食店やお店にインタビューしたりして情報収集し、足利市の魅力を発信。足利市の魅力度・認知度向上につながる。

### 地域清掃



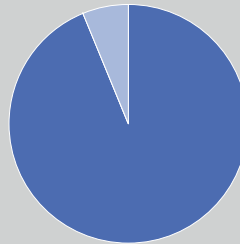
足利駅や公園などの、地域清掃を行うことでまちが綺麗になる。地域住民や清掃に参加する高校生の環境美化意識を高めることにつながる。

### あしもり隊の高校生以外も参加できる取組を設ける



意見箱の設置やイベントの「当日ボランティア」を募集など、手軽に関われる場を設けることで関心を高めるきっかけになる。また「高校生が活躍できる地域」により近づく。

## 足利に対する思いの変化



### ■ 良い方向に変化した 93.8%

- ・足利市の魅力に気付けた。
- ・足利がどうすればよくなるのか考えようになった。
- ・足利の可能性を感じられた。

### ■ 変化しなかった 6.2%

- ・イベントは盛り上がったが、継続性がなく、意識の変化には繋がらなかった。

## 分析結果

アンケート結果より、あしもり隊の活動は高校生の地域での活躍に寄与していると言える。また、あしもり隊に参加している高校生の中で自らが足利を盛り上げていこうという意識が芽生えて、足利に対する興味や関心が上がったと言える。

一方で、活動のブラッシュアップや、あしもり隊内外での意識差を埋めること、発信源などの課題もあることがわかった。